



大井車両基地で

感電死亡事故発生！

原因究明と再発防止策を求めて

団体交渉開催を申し入れ！

7月14日、JR東海の大井車両基地で、停電などの際に使われる非常用発電機の点検作業をしていた50代の作業員1名が感電して、意識不明のまま病院に搬送され亡くなるという痛ましい事故がありました。

新幹線地本はただちに原因究明と再発防止対策の確立をもとめて早急に団体交渉を開催することを申し入れました。

申し入れ要旨

- 7月14日の感電死亡事故に対する、時系列を含めた経過を明らかにすること。
- 感電死亡事故に至る、原因について明らかにすること。
- 今回の事故に関して、JR東海会社の見解を明らかにすること。
- 今回の事故を受けての、万全な再発防止策や対策を明らかにすること。
- 関係者へのメンタルケアについて、JR東海としても対応すること。

事故原因の隠蔽は許されない！二度と事故を起こさないため労働組合と真摯に向き合え！